

# 私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

## 2014(26)年 週 報

3月16日  
第3聖日  
3343号

「回心」

( I テサロニケ連続講演第4回)

聖  
言

主のことばが、あなたがたのところから出てマケドニヤとアカヤに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰はあらゆる所に伝わっているので、私たちは何もいわなくてもよいほどです。 I テサロニケ1:8

### 神を信じない罪

第二次大戦のとき、母が「中国で日本軍兵士が妊婦を殺した。」と父から聞かされた。」と言っていました。紺本妙子先生は「中国人に穴を掘らせ、日本兵が彼らの首を切つてその穴に埋めた。」と言う話を日本兵から聞かされまし教会の一人の兄弟は父親は憲兵であり、恩給をもらう資格がありながら、憲兵であったことを隠していました。なぜなら中国でしたことが発覚したなら、裁判にかけられ、刑に服さなければならぬからです。しかし、これらのことを誰しも責める資格はありません。もし私が二〇年早く生まれていたら、同じように人を殺していたことでしょう。人間は誰一人、人を裁く資格はありません。全ての人が罪人であり、神様の前に立たなければなりません。罪とは、このように具体的に罪を犯しただけでなく、傲慢、憎しみ、怒り、嫉妬を持つことです。しかし、一番大きな罪は、罪人を救う為に神様がおおくりくださった御子、救い主イエス・キリストを認めないばかりか、私たちの醜い汚れた罪を十字架の上で負ってくださいましたことを信じないことです。罪滅ぼしの善行に励むことも幸いですが、常に心から湧き上がる邪悪な思いと行いから解放されません。ただ、御子イエスの血は罪を赦し、悪からきよめられるのです

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話 : F A X (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年三月一六日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「回心」 (一テサロニケ連続講演第4回)

「主のことは、あなたがたのところから出てマケドニヤとアカヤに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰はあらゆる所に伝わっているのです、私たちは何もいわなくてもよいほどです。」(一テサロニケ一ノ六)

二〇一四年 三月二二日午後七時 祈禱会 山本牧師

「あわれみを求める訴え」

「主よ。私たちに起こった事を思い出してください。私たちのそれに目を留めてください。顧みてください。」(哀歌五ノ一)

五章は他の章と同じく二二節。しかしアルファベットの数え歌になっていないばかりか、一節の文字数も少ない。神の臨在されるエルサレムでありながら、偶像を拝み、神はおられない。教会の建物があるから、神がおられると考えてはならない。心の中の偶像を捨て去らなければ、エルサレムのごとく、神の教会が偶像の宮となりかねない。

### 宣教⑬

第三課 歴史の主人公になられた神

―世界宣教の歴史―

ウイリアム・ケアリー(一七六一〜一八三四)

イギリスの貧しい靴修理職人出身

―ケアリーがインドに向かった後、ヨーロッパとアメリカに二の宣教団体が組織された。

―愛と犠牲の模範となる

この時代以前の宣教師は、アフリカを対象とした宣教におい

て完全に失敗舌。カトリックのあらゆる努力とモラヴィ教徒の尽力にもかかわらず、実を結ぶことはなかった。数十年間に二〇人中一九人の割合で、宣教師が宣教地に着くや否や死亡した。しかし、自滅行為に等しいことを知りながら、この時代の宣教師たちは果敢にアフリカへ向かった。この時代、最初の六〇年間にアフリカに派遣された宣教師のうち、二年以上生存できた者はごくわずかだった。

三、六、二 現代宣教第二期：内陸宣教時代(内陸地域へ一八六五〜一九八〇年)

ハドソン・テラーの主導で本格的な宣教活動が展開した。「海外宣教のための学生ボランティア運動」(The Student Volunteer Movement Missions:SV)が中心となり、アメリカが宣教の主導国として浮上し、ほぼすべての国に教会を建てられた。一九四〇年に入り、こうした業績が「この時代に偉大な新事実」として喝采を受け、一部の宣教団体は世界の福音化が完成したと考えて宣教師を本国に召還し始めた。

(ワイ・ミッシェンより)

### 二〇一四(平成二六)年イースター年度末克己献金

神様は教会を建設され、教会を通して御業を行われます。第一は教会の維持、第二は兄弟教会のサポート、第三は地域社会に貢献することです。今回は特に飢餓とともに高確率で近年に発生する東南海地震に対する備えのために献金をおさげください。

「それとも、あなたがたを高めるために、自分を低くし報酬を受けずに神の福音をあなたがたに宣べ伝えたことが、私の罪

だったのでしょうか。私は他の諸教会から奪い取ってあなたがたに仕えるための給料を得たのです。」

(コリントロ一ノ七、八)

献金額 四〇万円

内訳	普通会計不足の為	一〇万円
	地方教会	一〇万円
	日本飢餓対策機構	一〇万円
	地震用避難物資貯蔵	一〇万円

主にある愛兄弟様

二〇一四年三月一六日

イエス・キリスト聖成伝道教会・会計・役員一同

第十五回癒し五〇日連続祈禱

三月一七日(月)～五月五日(月)

午後一時～午後二時半(祈りの後、楽しいティーで休憩)

場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)

第二回聖書通読完了

旧新約聖書 二〇一三年四月一三日～二〇一四年三月一〇日

庄司姉 尾瀬姉 山本師

今年の教会受難カレンダー

- ① 灰の水曜日三月五日(水)
- ② 四旬節(レント)三月五日(水)～四月一九日(土)
- ③ 棕櫚の主日…四月一三日(日) マタイ二一ノ一～十一、ヨハネ十二ノ十二～十九
- ④ 受難週四月一三日(日)～四月一九日(土) マタイ二一～二七章、ヨハネ十二～十九章
- ⑤ 洗足木曜日四月十七日(木) ヨハネ十三ノ一～十七
- ⑥ 受難日四月一八日(金) ルカ二三ノ三三
- ⑦ イースター四月二〇日(日) マタイ二八ノ二～四
- ⑧ 昇天日 五月二九日(木) マルコ一六ノ一～九、ルカ二四ノ五一
- ⑨ 聖霊降臨日 六月八日(日) 使徒二ノ一